

Stop GANKO Step

～ 廃材資源を有効活用、災害に強い街を創造～

石川工業高等専門学校
5年環境都市工学科 まこLab

大平碧人○
板坂遼
北野いち葉
鮫島優希

島田祥
葎田理子



背景

令和六年一月一日、能登半島地震が発生。ビルの倒壊や土砂災害が連日、全国に報道されていましたが本当に復旧を妨げていたのはほんの少しの段差でした。橋自体は健全なのに段差の影響で通行できない箇所が多くあります。そして地震によって住宅の倒壊や瓦の落下などの被害がありました。

提案

土嚢を利用することでこの問題は解決するかも…土嚢を作成することを提案します。今回私たちは瓦、珪藻土、竹を利用し強度の高い土嚢を目指しました。

補足

昨年の石川高専からのエントリーチームであるMr.HHH「バンブーレスキュー」から竹シートのアイデアを受け継ぎ、形を変えて土嚢袋を作成しました。

目的

段差を未然に防ぐこと、段差が生じてしまった際に迅速・簡易的に施工できることを前提とします。また瓦礫や放置竹林、能登の復興、大量廃棄などの問題にとっての解決案となることを目的にしています。

実験

圧縮試験 密度試験 引張試験
実績率試験 ふるい分け

メッセージ

能登半島地震。最大震度7の地震によって被災した私たちだからこそ知っている、報道されていないけれど、影響が大きかった被害について知ってほしい、同じことが起きてほしくないという思いの下、案を練りました。

